



環境経営レポート

株式会社スタープライド

2023 年度

(対象期間 2023 年6月1日～ 2024 年5月31日)



エコアクション21[®]
認証番号0013701



作成日： 2024年6月28日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	10

ごあいさつ

私は前職でアルバイトや派遣社員が社員と同じ責任感を持ち一生懸命に働いている姿を目にし、この人達の待遇がもっとよくなるようにと考え2008年に開業しました。今年で17年目を迎える運輸・物流に特化した人材派遣会社です。派遣の業務は企業と人との架け橋となるお仕事です。社名の由来は、私たちスタッフが「プライド」＝(誇り)をもって取引先企業様を「スター」＝(輝かせます)という想いを込めて「スタープライド」とさせていただきました。創業以来、運輸・物流業界出身の強みを生かし、数多くのお客様とスタッフ様に支えられ、社名の由来の志を忘れぬよう成長し発展して参りました。これもひとえに、多くの方々のご愛顧の賜物と改めて深く感謝いたします。この度エコアクション21に取り組むことで、環境保全にも前向きに出来ることから活動を行い社会へ貢献してまいります。

環境経営方針

環境経営理念

深刻化する地球温暖化問題へ対応すべく、出来ることから自主的・積極的に環境問題へ取り組み、環境経営の継続的改善に努めます。

環境保全への行動指針

1. 温暖化の抑制の為に省エネルギーに努め、二酸化炭素の排出量を削減する。

- ・ 電力使用量の削減
- ・ ガソリン使用量の削減



2. コピー用紙等紙の使用量を削減する。
3. 3Rを推進し、廃棄物の削減に努めます。
4. 節水に取り組みます。
5. 事務所周辺の美化活動を行う。
6. 環境経営方針を全従業員に周知・徹底します。
7. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。



制定日：2021年9月1日

代表取締役社長 田畑隆志

組 織 の 概 要

更新日：2024年6月2日

- (1) 名称及び代表者名
株式会社スタープライド
代表取締役社長 田畑 隆志
- (2) 所在地
本 社 大阪府 大阪市 福島区 海老江 5丁目2番2号 大拓ビル5 5F
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 管理部係長 山元 晃 TEL：06-6131-4789
担当者 管理部主任 中橋 祐貴 TEL：上記と同じ
- (4) 事業内容
人材派遣事業
業務請負事業
- (5) 事業の規模
売上高 2023年度 89039 万円
- | | | | |
|-------|----------------|--------|----------------|
| | | 本 | 社 |
| 従業員 | 名 | 22 | 名 |
| 延べ床面積 | m ² | 177.99 | m ² |
- ※本社以外の契約先顧客事業所で勤務している従業員は400人
- (6) 事業年度 6 月 1 日 ～ 5 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社スタープライド
対象事業所：本 社
対象外事業所：京田辺営業所(2026年度に拡大予定)

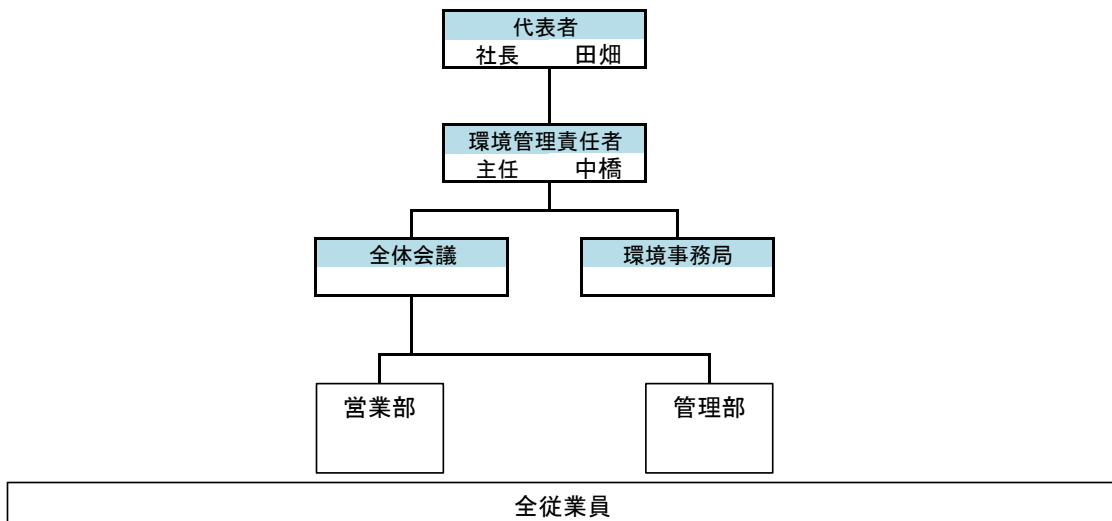
活動：人材派遣事業・業務請負事業

□事業や製品(商品)の紹介



環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2022年3月31日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、全体会議の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
全体会議	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加



主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂		15,353	15,803
一般廃棄物排出量	k g		66	22
コピー用紙使用量	枚		129,500	125,000
水使用量	本		50	70

※電力の二酸化炭素排出係数（関西電力 2022年度 調整後） 0.434 kg-CO2/kWh

環境経営目標及びその実績

□環境経営目標及びその実績

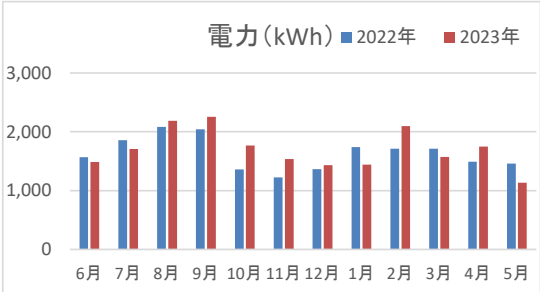
項目		基準値	2023年		評価	2024年	2025年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	8,636	8,463	8,842	×	8,291	8,204
	基準年度比	2022年	98%	102%		96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	6,717	6,583	6,961	×	6,516	6,448
	基準年度比	2022年	98%	104%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	15,353	15,046	15,803	×	14,806	14,653
紙使用量の削減	枚数	129,500	128,853	125,000	○	128,205	127,558
	基準年度比	2022年	99.5%	96.5%		99.0%	98.5%
用水の削減	本	50.0	49.8	70.0	×	49.5	49.3
	基準年度比	2022年	99.5%	140.0%		99.0%	98.5%
一般廃棄物の削減	kg	65.7	62.4	21.8	○	61.1	59.1
	基準年度比	2022年	93%	33%		93%	90%
環境に配慮したサービス(電力+自動車のCo2量÷売上高)	原単位	203.0	198.9	177.5	○	196.9	194.8
	基準年度比	2022年	98%	87%		97%	96%
事務所周辺の清掃活動	回		12	12	○	12	12

※テナントビル（水洗・洗面用水共用）への入居で水道量把握不可の為ウォーターサーバー使用本数の進捗管理とする。

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標：○達成 ×未達成
活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

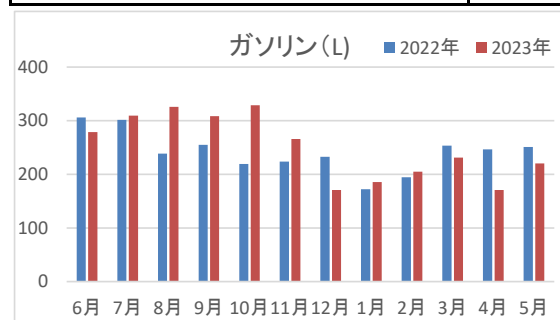
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	残念ながら数値目標は達成出来なかった。しかし前年度から残業の短縮等は継続出来ており、意識は高く感じている。他の達成手段と含めて継続させることで目標に繋がると感じられた。課題としては社内全体のエコアクションへの関心をより高めること。意識を高め、継続させ続けることで目標達成を目指す。
・空調温度の適正化(冷房27～28℃ 暖房20～21℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・働き方見直しによる残業時間の短縮	○	
・クールビズ、ウォーム・ビズによる空調適正の補	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2022年	1,567	1,857	2,084	2,044	1,359	1,225	1,364	1,739	1,714	1,714	1,490	1,459
2023年	1,488	1,710	2,188	2,255	1,767	1,536	1,433	1,441	2,098	1,572	1,750	1,135

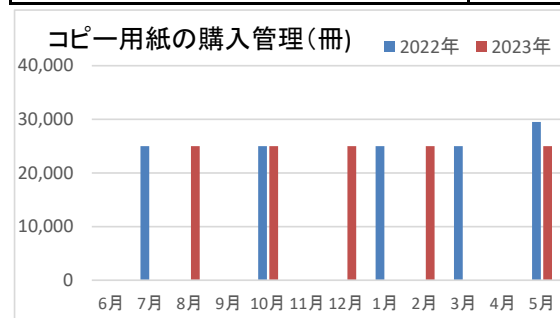


自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	要不要を見極めて車を使用できるようになっていると感じる。
・アイドリングストップ	○	遠方の取引先や公共交通機関での訪問しづらい取引先もあるため今後大きく削減することは難しくなるかと思う。
・効率的なルートで移動	△	それでも車の使用を計画的に行いエコドライブを推進したい。
・公共交通機関利用	○	また当社では社用車5台すべてハイブリット車としており、今後も乗り換え・追加の場合はハイブリットを前提と考えている。



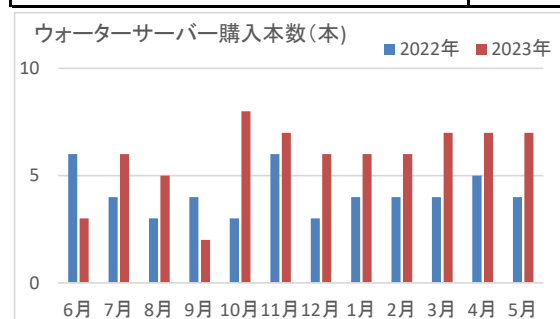
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2022年	306	302	239	255	219	224	233	172	195	254	247	251
2023年	279	309	326	308	329	266	171	186	205	231	171	220

紙使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	初期と比較すれば「紙を使うのがもったいない」という声が聞けるようになってきている。
・コピー用紙の購入管理	△	今期の紙の総使用量は昨年と比べ多少ではあるが減少した。
		各業務の運用もペーパーレス化を視野に入れて計画されるようになってきている。
		意識は変わってきているため来期は明確に紙の量を減らしていきたい。



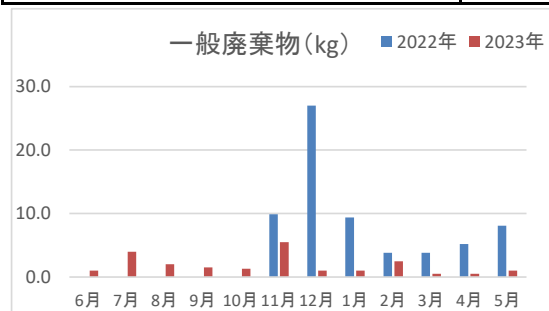
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2022年	0	25,000	0	0	25,000	0	0	25,000	0	25,000	0	29,500
2023年	0	0	25,000	0	25,000	0	25,000	0	25,000	0	0	25,000

用水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	極端に水を使うことも、全く使わず余らせることもなく、一定ペースで1年間を過ごせた。
・ウォーターサーバーの利用管理	○	社員数の増減以外で利用量が変わ動しないように今後も大切に水を扱っていくよう社内に呼びかけたい。
・飲用以外の使用を禁止し、使用量を管	○	



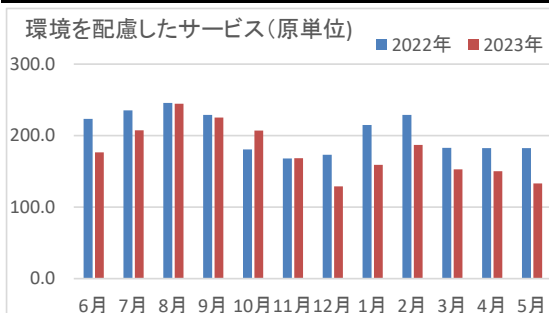
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2022年	6	4	3	4	3	6	3	4	4	4	5	4
2023年	3	6	5	2	8	7	6	6	6	7	7	7

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	法令で一定期間の保管が規定されている書類が複数あるため、どうしても年に何度か廃棄物の増える月がある。事業規模が大きくなるに比例して履歴書などの保管枚数が増え、都度廃棄量も増えてくるが、そういった書類についても何とか減らせないか検討していくことが環境配慮に対して必要なことであると感じている。
・分別の徹底	○	
・印刷物の削減	△	



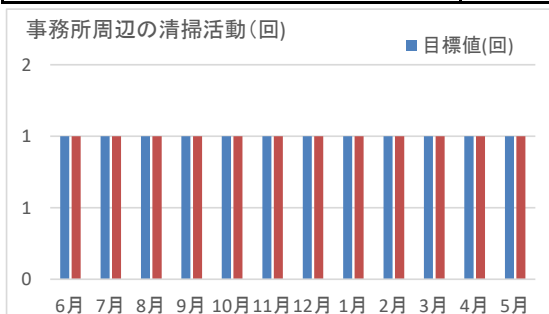
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2022年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.9	27.0	9.4	3.8	3.8	5.2	8.1
2023年	1.0	4.0	2.0	1.5	1.3	5.5	1.0	1.0	2.5	0.5	0.5	1.0

環境を配慮したサービス	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	売上に対して効率的に資源を使用できていると感じる。
電力による二酸化炭素削減	×	今後は従業員の増員も視野に入れているため、売上とともに人数が増えてもこの流れを維持できるように努めていく。
自動車燃料による二酸化炭素削減	×	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2022年	223.6	235.3	245.5	228.9	180.5	168.0	173.1	214.8	229.0	183.0	182.7	182.4
2023年	176.4	207.2	244.5	225.2	206.9	168.6	129.0	159.1	186.9	152.7	150.2	133.1

事務所周辺の清掃活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	年間通して社員全員が清掃に参加できている。
・月に一度事務所周辺の清掃を行う	○	現在は月に1回の活動ではあるが、ゆくゆくは複数回行うなど頻度を増やしていきたい。



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
目標値(回)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2023年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

取組紹介

<大阪本社>

ビル周りの清掃風景



地域への貢献できる事としてビル周りの清掃を始めました。

時間が合う者は参加という形で行っており、定期的に行うことでエコの意識、地域への貢献へと繋がるようにと始めました。



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

環境関連法規制等名称	該当する設備・項目
廃棄物処理法	一般廃棄物の保管・排出、水銀廃棄物の適正処理(テナントビルの規則に則る)
フロン排出抑制法	業務用空調機(テナントビルの規則に則る)
消防法	危険物の保管はない、消防設備はテナントビルの規則に則る
家電リサイクル法	冷蔵(冷凍)庫 1台
小型家電リサイクル法	小型電子機器
労働者派遣法	適正な人材派遣を行うために法を遵守
お取引先の基準・環境マネジメント	お取引先の基準・環境マネジメントを遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。※遵守評価日:2024/5/20
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。※2021~2023年度

□外部からの環境上の苦情・要望等

特に問題になるような苦情・要望ともにありませんでした。(2023/6/1~2024/5/31)

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定: 火災と地震の発生	
■実施日: 2024年3月29日	■実施場所 当社事務所
■参加者: 10名参加	
■実施内容: ☒ 避難訓練 不参加の者には個別に訓練内容を実施。	
■評価:	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
今回、火災想定避難訓練を行ったが、避難自体はスムーズに行えた。今後、消火器の使用方法などの訓練も行うことが出来れば更に充実した訓練になるものと感じた。	
■実施状況の様子	
	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年6月3日

エコアクション活動が続けることで、社内での環境に対する意識が確実に強まってきている。

活動を始めてから年々ガソリンや電力の使用量から無駄が減り、環境への配慮についての意識が当たり前になりつつある。

しかし、前年度よりも電力や自動車の利用が増加し目標が未達成に終わった。今後は公共交通機関の利用等を増やし、目標達成に向けて動いていきたい。

今後もこれらの活動を続け、環境配慮を通じた地域貢献を進めていく。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり

これまでの環境活動の紹介



遮熱フィルムで遮断しています

エコ移動のすすめ

公共の交通機関を使って「渋滞トラブル」や「駐車トラブル」を無くそう！

自動車やバスは「道路の交通渋滞」や「環境汚染」などの問題が一つとなっています。多量にガソリンや電力を消費し、知らず知らずのうちに環境汚染を発生させたり、スピードコントロールに悪影響が及ぼされたり、適切な車間距離を維持するのが難しくなったりします。また、燃費が低下し、ハンドル操作やペダル操作にもミスが起きる可能性があります。

それらの問題に対処する方法として

外出時の移動を自動車での移動だけではなく
電車やバス、自転車、徒歩などの移動も
視野に入れ行動すること

がとても大切です。

エコ移動の7つのメリット

1. 燃費効率につながります。電車やバスでの移動は自動車移動と比べ、およそ4割のガソリンを消費します。 ※出典：厚生労働省・国土交通省の「エコドライブ2006」
2. 移動時の事故減少。安全な移動のメリットも期待できます。
3. CO2削減により地球温暖化防止につながります。
4. 公共交通機関や自転車、徒歩での移動は健康増進に役立ちます。また、移動のルートを見直すことにより業務効率も向上します。
5. 渋滞に巻き込まれずに行動できます。また、交通事情のリスクも減り、安全に行動できます。
6. 地域への協力として、自動車の移動を減らすことにより、渋滞緩和が期待できます。
7. 公共交通機関の利用が増加することにより、公共交通の維持と発展につながり、サービス水準の向上が期待できます。

みんなで地球に優しく、安全に健康的に働こう！

編集後記

会社の売上は年々大きくなっていますが、ガソリン料金や電気料金などの総額はなだらかな上昇となっております。社員各人の環境への意識が上がっていると感じます。

また毎月1度実施している周辺の清掃については各々の予定を考慮して任意の参加を呼びかけていますが皆積極的に参加しており、良い習慣となっております。